

石城時報

石城郡石城町平町四十四番地
編輯 藤田 弘成
印刷 石城印刷所
電話 二四一
代印 石城印刷所
電話 二四一
電話 二四一
電話 二四一

農村振興の叫び

技術員が農會に陳情 總會で對策を協議

石城郡農會評議員會は二十九日平町事務所を開き、三十日總會に附議する昭和八年度豫算について打合せしたが、當日町村農業技術員から左の如き陳情があつたので之を總會に附議した結果町村農會に相當補助をなす事になった。

陳情書

農村年來の疲弊は今や經濟的困窮と思想的危機を誘致し前途尙憂慮すべきものあり。今日之が有効適切な對策を講ずるに非ざれば農村の窮乏益々深刻なる事明なり。然るに現下の時局に對し之が打開の任を擔當し、更生の道を講ずるものは郡農會を置いて他なし。郡農會は從來農村振興に對し

小名濱築港事務所 福來新所長着任

從來の設計を踏襲する 福來技師朗らかに語る

榑木篤夫氏の休職收容により小務所に出席三十日各方面に新任名濱商港修築事務所長後任は二技師を行つた。同日は仙臺市生れ大正二年仙臺高工卒業以來引續き北上川河川改修工事の主任技師として今日に至つた。高工卒業後透視術で有名な文學博士福來

入山炭礦の好況で 湯本町に好景氣來

湯本町に好景氣來

健康保險醫 縣下審査會

松村鐵郎氏出席

小名濱疑獄事件 所長遂に收容さる

既報の如く小名濱築港疑獄事件に見る大疑獄事件として各方面の中心人物同築港修築事務所所長榑木篤夫(四九)氏は昨年十二月初旬贈賄者たる鮫川砂利會社代表社員小名濱町久保田真氏の贈賄自首によつて平署並びに平檢事局の取調を受けた後一時控へを許されてゐたが、二十一日の閉議に問題となつた結果二十六日付を以て休職となり司法大臣に起訴命令が發せられた結果二十八日正午福島地方檢察局平支部並井豫審判事の拘引状が發せられ小林檢事の取調を受け直ちに豫審に附され夕刻平刑務所に收容された。ちなみに同氏の收賄事實は大小合せて數十件その金かけ左眼を突き全治三週間の重傷を負はせ平署に捕はれた。

南町街路の喧嘩 醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

醉漢を眼突き刺す

南町街路の喧嘩

豫算總會

石城郡農會總會は三十日午前十時平町事務所を開き昭和八年度豫算を協議一萬五千九百九十二圓を可決したが、前年度より二萬七千七百七十圓の増加である。尚ほ同年度の事業方法を左の如く決定した。

警城無盡で 電話番號表新調

警城無盡で

朝日映畫會

朝日映畫會

高平助役再選

高平助役再選

原町兵事主任會

原町兵事主任會

原町の賭博檢舉

原町の賭博檢舉

古物商組合設立

古物商組合設立

相馬支局通信

相馬支局通信

養鶏講習會

養鶏講習會

劍道大會

劍道大會

寒稽古納會

寒稽古納會

竹細工講習會

相馬郡上長村農會主催で二月一日より六日間同村役場内に於て開催する。

種牝馬検査日

種牝馬検査日

相馬區裁判所復活

相馬區裁判所復活

朝日映畫會

朝日映畫會

高平助役再選

高平助役再選

原町兵事主任會

原町兵事主任會

原町の賭博檢舉

原町の賭博檢舉

古物商組合設立

古物商組合設立

相馬支局通信

相馬支局通信

養鶏講習會

養鶏講習會

劍道大會

劍道大會

豫算總會

石城郡農會總會は三十日午前十時平町事務所を開き昭和八年度豫算を協議一萬五千九百九十二圓を可決したが、前年度より二萬七千七百七十圓の増加である。尚ほ同年度の事業方法を左の如く決定した。

四倉校増築問題で

けふ保護者大會

町當局の敷地に反対し

三項を決議す

四倉町では昭和八年度事業とし七は二十五日午前十時頃無断で小學校増築案を建て六月まで家出したが平町方面に來たらし二階建八教室を増築する事になつたが、敷地は現商業水産校の前に大体内定してゐた處右敷地に建設すれば全校は之がため日光を遮られる事となるので衛生上大問題であるとの保護者會で騒ぎ出し三十日午後一時より同町青年會館で大會を開き町當局の計劃に反対の氣勢をあげた、協議の結果町當局が之を聞き入れぬ時は縣に反對運動を行ふ事になつた同會の決議事項左の如し

一、我四倉町小學校々々増築せらるゝに當り町當局將來の發展と児童保健及び教育の便益を考慮し根本的建設を計畫し、確固たる方針に基き慎重なる考慮に依り校舎増築を實行せらる可し

二、新校庭南側は學童の保健衛生上よりして新校舎増築敷地として不適當と認め絕對反對す

三、講堂なき爲め學童の授業を犠牲とする事一年を通じ多大なり、保護者として見るに堪はず建築を望む

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

平町人事

△出生
田町四八東京市板橋區板橋町三丁目二九四鈴木左右平四女
爾智子、鎌田町四八横濱市中區中村町平東九七塚常松二好恵、四丁目一茨城縣多賀郡助川町二七八小薮宗良長女
キミ、長橋町二九双葉郡浪江町權現堂小關三七松田金太郎四女喜久彌
△婚姻
茨城縣直轄郡直轄一七一八海老原芳之助四六二丁月五三吉成ミネ(三九)

節分豆まき會

一、日時 二月三日(舊曆正月九日午後一時)

一、場所 縣社子鏡會神社

一、歳男 各町の世話人又は事務所(平町紺屋町柳下方)迄申込まれたし

會費廿錢(福豆及び神札呈上)

主催 福和內會

耳鼻咽喉科専門

平町田町七十番地

山内醫院

醫學士 山内亨 吉

入院 隨意 病室完備 電話六九一番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

体温計の検査日です

10日 検査機 新設 お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

西村屋藥局

度量衡 指定販賣人 電話三番

病室完備 平町南町

光線科

上田外科醫院 電話一二九番

皇漢藥合成品

喘息五靈湯

五日分 一圓 慢性ニヨシ

喘息、氣管喘息、神經喘息、痰咳、氣管支カタル等の慢性頑固性に卓効を有す。他藥にて全治困難の人々に一度の御試用を勵む。

山野邊藥局

急性慢性を問はず 淋疾は立派に全治す

(一)淋疾尿道炎、(二)消渴、(三)膀胱カタルには驚く可き効目がある

高級治淋新藥 トリプチン

特約店 大平屋藥店 電話六四二番

在滿軍人慰問金決算書

殘金五百八拾四圓二錢を

石城町村長會に委任

一金二千三拾九圓三十錢也

慰問金 寄附總額

内 譯
一金五百五拾七圓八拾二錢也
七十七銀行支店扱
一金參百貳拾貳圓六十五錢
常盤銀行平支店扱
一金百五拾八圓八拾參錢
磐城時報社扱

支 出

一、拾圓也 西牧伍長遺族へ
一、五拾圓也 佐川上等兵同
一、拾圓也 安島同
一、五拾圓也 箱崎同
一、拾圓也 滿洲派遣兵慰問金
一、拾圓也 山崎同
一、拾圓也 鶴沼同
一、五圓也 渡邊君入營餞別
計 四百四拾五圓
外 拾圓二十八錢 凱旋兵歡迎のため金盃四十個購買費
累計四百五拾五圓二十八錢

差引殘金 五百八拾四圓二錢

右殘金五百八拾四圓二錢は福島縣町村長會石城支會を経て本會の名を以て石城郡内凱旋兵並に石城郡出身在滿軍人慰問金として贈與すべく昭和八年一月二十八日支會長青沼鋒太郎氏に依頼せり

尙ホ

一、拾圓五拾錢 立看板代 小田 吉治 氏 負擔
一、慰問弔慰金贈呈旅費 馬目雅治、佐藤作平 負擔
一、會議費 小田吉治 負擔
右之通り御報告申上候

在支軍人慰問後援會

發起人 諸橋 久太郎
後援 磐城時報社

寄附者各位